

# 経 営 の 状 況

(21年9月末)



愛媛県信用漁業協同組合連合会

# 1. 事業の概況

県内の漁業情勢は、漁船漁業における魚価安、魚類養殖業の出荷の鈍化、真珠養殖業でも大幅な価格低下となり、昨年から続く燃油及び飼料高騰によるコスト増大と相まって、漁協・漁家の経営は依然として厳しい状況にあります。

このような状況下、当連合会といたしましては、事業量(貯金)の確保を実現するとともに、県下JFマリンバンク全体として活力ある「浜の金融機関」を目指し、加えて信頼性確保のため、「あんしん体制(信用事業安定運営責任体制)」の確立を図り、漁村及び地域社会から信頼されるJFマリンバンクとなるよう経営努力してまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 貯金

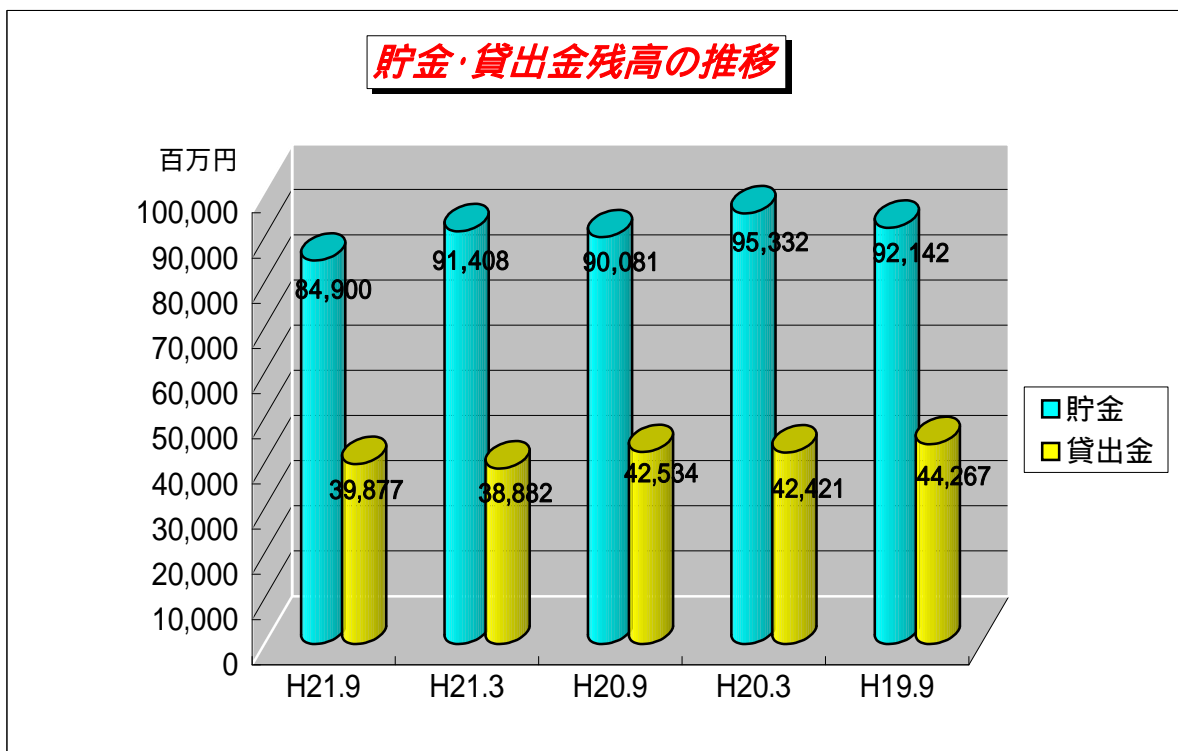
貯金は、9月末残高849億円で、大型漁協の信用事業譲受けに伴う当座貸越相殺、他行との金利競争、組合員高齢化による転居、水揚げ不振による生活費の取崩し等の影響により、前年同期比52億円減少しております。

本年度も夏期に特別キャンペーンを実施し、定期貯金11億円、定期積金1億円の獲得により、貯金量の確保に努めております。

## 貸出金

貸出金は、9月末残高399億円で、前年同期比26億円減少しております。

また、上半期は昨年度より続く流通面での影響による経費圧縮や新規設備投資自粛に伴い、大幅な増加とはならず、ほぼ横ばいの状況になっております。



## **財務収支**

漁業を取り巻く厳しい環境の中、少人数体制による人件費の抑制等、事業管理費の削減に努めるとともに効果的な余裕金の運用と延滞債権の回収を図り、計画通りの剰余金を計上することができるよう事業展開してまいります。

なお、上半期における経常利益は55百万円、当期剰余金は31百万円となりました。

また、金融機関の安全性・健全性を示す自己資本比率は、「新BIS規制」に従った算定の結果、21.98%となり、国内基準(最低所要自己資本比率)の4%及び系統内ルールに示された漁協信用事業実施要件である8%を大きく上回り、引き続き高い水準を確保しております。

## **2. 主要な取組み**

当連合会は、協同組合運動の理念の下、県下漁協信用事業組織(24自立漁協及び16代理店)の中核として、会員と組合員の強い信頼と負託に応え、その社会的、経済的地位の向上と漁協信用事業の健全な育成のため最大の奉仕を行うとともに、会員と組合員からの資金需要に適切に応えることにより、水産業の振興及び漁村地域社会の発展に貢献できるよう県下漁協と一体となり事業展開いたします。

この経営理念の実現のために、以下の事項を重点的に取り組むことといたします。

### **重点取組事項**

信用事業安定運営責任体制(あんしん体制)への展開

事業量確保に向けた推進活動の展開

会員及び漁業者等の資金需要に対する積極的融資対応

不良債権の計画的圧縮と延滞の早期解消

内国為替の適切かつ確実な取扱いと漁協指導、国庫金や公共料金の利用拡充による家計のメイン化推進

役職員へのコンプライアンス意識の醸成と職員教育の効果的实施による内部管理の強化及び再発防止策の実践

内部監査業務による本会事業運営の健全化と能率化への取り組み

## **3. その他**

特筆すべき事項はありません。

#### 4. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

	平成21年9月末	平成21年3月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,031	1,032	1
危険債権	7,634	6,933	701
要管理債権	361	237	124
不良債権合計	9,026	8,202	824
正常債権	30,963	30,779	184

平成21年9月末の債権額は次の方法により算定しています。

各債権額は平成21年3月末時点を基準として、対象債権残高を修正しています。

平成21年3月末以降に、債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、9月末時点の対象債権残高を修正しています。

(注1)「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
(注3)「要管理債権」とは、基本的には、「3ヵ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
(注4)「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権です。

#### 5. 単体自己資本比率

平成21年9月末	平成21年3月末
21.98%	22.50%

#### 6. 主要勘定残高の状況

(単位:百万円)

	平成21年9月末	平成21年3月末
貯 金	84,900	91,408
貸 出 金	39,877	38,882
預 け 金	45,898	53,510
有 価 証 券		